藝大21

演奏藝術センター 企画公演〈和楽の美〉 邦楽絵巻

# 大和は国のまほろば

平成28年度文化庁劇場・ 音楽堂等活性化事業、 藝大フレンズ賛助金助成事業

平成28年 **9月10**日[土]

17時開演(16:30開場) 東京藝術大学奏楽堂 「大学構内」

【脚本·演出】 千野 喜資 【音楽監督】 萩岡 松韻

【副音楽監督】小島直文

【美術デザイン】 日比野 克彦 【照明デザイン】 海藤 春樹

【特別出演】 白華 れみ

稀鳥まりや

(元宝塚歌劇団) **堅田 喜三久** 

(人間国宝)

※スケジュール、曲目、出演者等は都合により 変更になる場合もあります

〈お問い合わせ〉

東京藝術大学演奏藝術センター 050-5525-2300

東京藝術大学ホームページ http://www.geidai.ac.jp/

### 主催:

東京藝術大学演奏藝術センター 東京藝術大学音楽学部・美術学部



■入場料/全席指定 ※就学前のお子様の同伴・入場はできませんのでご了承ください S席 5,000円 A席 4,000円

■チケット取り扱い

東京芸術大学生活協同組合 03-3828-5669 店頭販売のみ

ヴォートル・チケットセンター 03-5355-1280 http://ticket.votre.co.jp/

チケットぴあ **0570-02-9999** (Pコード:301-218) http://t.pia.jp/

東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 http://www.t-bunka.jp/ticket/

イープラス(e+) http://eplus.jp/



# 大和は国のまほろば

## 千野 喜資 (演出家)

大和は 国のまほろば たたなづく青垣 山こもれる 大和し うるわし

奈良朝では、天平年間の聖武天皇に魅力を感じます。 いつの世にもある豪族の権力争い。疫病の蔓延。加え て飢饉もあって、国がゆらいでいる時代でありました。

そこで帝は、国家安泰を祈念するために、庶民とと もに、大佛を建立しようと発願されました。こうした 時代を邦楽で表現するのに、すべての曲を幻想曲と仮 想してみました。

いにしえの大和に憧れていた僧侶が、夢の中で天女に誘われて天平の世へタイムスリップします。葛城山 三輪山の神と出会い、怨霊に悩まされ、大佛開眼の大 法要の場面まで、夢体験をしてしまいます。和楽・大 和まほろばの旅は、僧侶が見た夢の物語です。

# まほろば模様

日比野 克彦 (東京藝術大学美術学部先端芸術表現科教授·美術学部長)

模様は私たちの身の回りにあります。東洋的な模様、 西洋的な模様。昔の模様、今の模様。その時代、その 地域の、それぞれのらしさがそこには現れています。 それはいったいどこから生まれてくるのでしょうか。 生活様式、文化、思想などから図形、紋様が生まれて くるのかもしれません。丸という形からイメージする 生活、三角という形からイメージする思想、四角とい う形からイメージする文化。私たち人間は様々なこと を視覚化することにより伝達しています。そしてその 視覚化された模様が五感を刺激します。今回の舞台で は、繰り返し綴られる模様が音にも聞こえてきたりす ることになるかもしれません。また空間に現れた模様 と模様が響き合い、空気を振動させたりするかもしれ ません。古来の紋様に現代の空気の響きを加えた新た なる模様は、邦楽の世界と共に新たなる次元が瞬く時 を創出できればと考えています。

出 制作統括】萩岡松 舞台監督 関根知 都合により変更になる場合も スケジュール ありますのでご了承ください 海さとみ(筝曲 島直 孝史(能 輔太 輔 松 赓 画】田川めぐみ 響 明](有)ライ 演 付 純 太朗 順(邦楽 科·器楽科教員·学 孝(能楽観 順 術大学音楽学 韻(筝曲 山 順 文 一岩崎 増田 長 関 萩 西  $\widehat{\mathbf{B}}$ 、曲目、 楽宝生流 ЛI 根 本舞踊 Ш 知 松 雄 浩 生田 田 孝韻 出演者等は 本海さと 木勝 生ほ



【所在地】 〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 【お問い合わせ】東京藝術大学演奏藝術センター 050-5525-2300

http://www.geidai.ac.jp/

#### 【交通案内】

JR上野駅公園口・鶯谷駅南口、東京メトロ千代田線根津駅より 徒歩10分

京成線京成上野駅、

東京メトロ日比谷線上野駅・銀座線上野駅より 徒歩15分

台東区循環バス「東西めぐりん」

- 2 上野駅・上野公園から(東京芸術大学経由)
- 5-1 東京芸術大学下車[30分間隔]

※駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください